

令和2年8月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和2年8月分について、輸出額は「自動車」、「自動車の部分品」などが減少したことから、対前年同月比20.2%の減少となった。また、輸入額は「原粗油」が増加したものの、「液化天然ガス」、「アルミニウム及び同合金」などが減少したことから、同18.2%の減少となった。その結果、差引額は4,331億円（同21.7%の減少）となった。

注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による
また、★印は全ての月を通じて過去最高を示す（1979年1月以降のデータを基礎として比較）

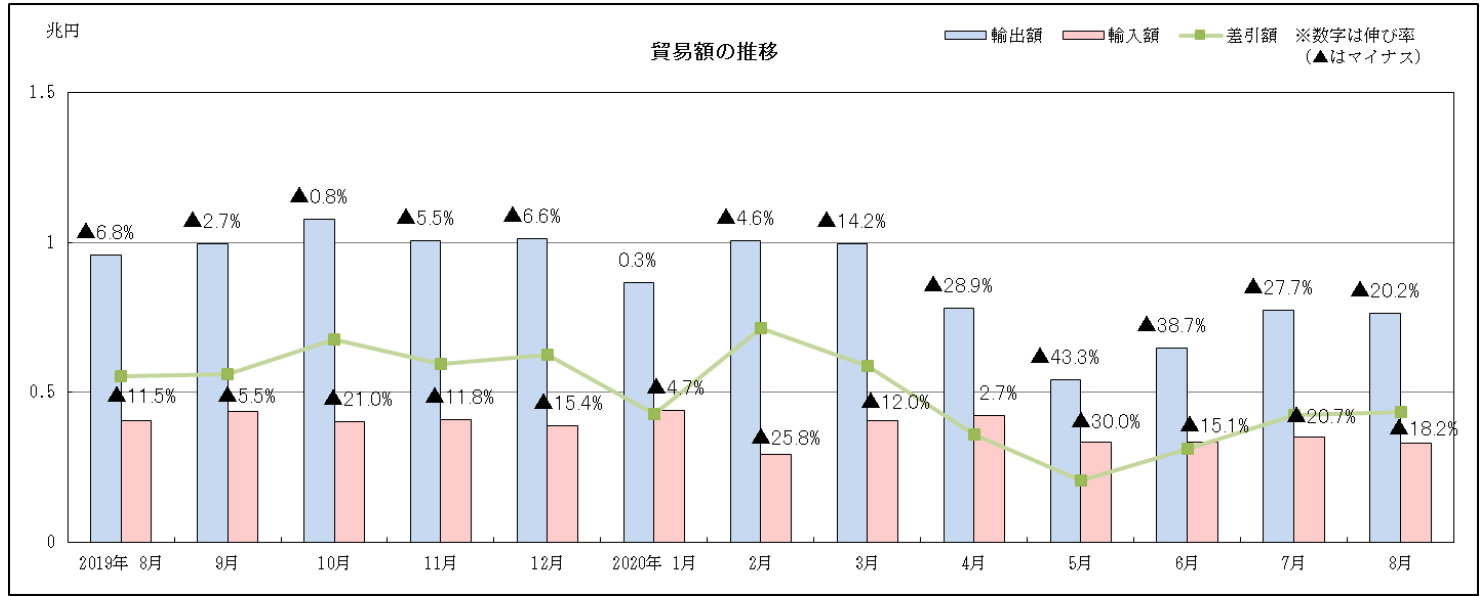
○総額

区分	輸 出 額	伸 率	輸 入 額	伸 率	差 引 額	伸 率
名古屋港	7,646億円	▲20.2%	3,316億円	▲18.2%	4,331億円	▲21.7%
	7ヵ月連続の減少		4ヵ月連続の減少		6ヵ月連続の減少	
管内（名港シェア）	1兆2,049億円（63.5%）		5,964億円（55.6%）		6,085億円（—）	
全国（名港シェア）	5兆2,327億円（14.6%）		4兆9,844億円（6.7%）		2,483億円（—）	

注）名古屋港における差引額は、平成23年6月以降111ヵ月（9年3ヵ月）連続 全国港別第1位（空港を含む）

○主な増減品目

	概 況	品 名	金 額	伸 率	寄 与 度	増 減
輸 出 少	(1)	自動車	1,508億円	▲35.4%	▲8.6	7ヵ月連続の減少
	(2)	自動車の部分品	1,396億円	▲10.7%	▲1.8	16ヵ月連続の減少
輸 入 増	(1)	原粗油	243億円	+48.2%	+2.0	7ヵ月ぶりの増加
	(1)	液化天然ガス	199億円	▲46.5%	▲4.3	2ヵ月連続の減少
	(2)	アルミニウム及び同合金	80億円	▲58.7%	▲2.8	22ヵ月連続の減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。
名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。